

(参考) 平成23年度 ごみゼロ推進功労者表彰者一覧

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(シャカイフクシホウジン ソウショウukai) 社会福祉法人 走翔会	理事長 深瀬 幸敏	上山市 金瓶	NPO法人環境ネットやまがた代表
功 績			
<p>・障害者の就労を支援する福祉作業所の活動の一環として、平成18年度から廃食油を利用してバイオディーゼル燃料（BDF）製造を行っている。</p> <p>上山市が一般廃棄物と一緒に市民等から収集した廃食油からBDFを製造し、法人が就労活動として取組んでいる農作業で使用する農機具の燃料として使用しているほかに、市内の建設会社に販売し建設現場で使用する重機等で使用している。</p> <p>ごみの減量・リサイクルと障害者の就労支援及び環境配慮について、行政と福祉作業所と事業者が連携したモデル的な事業となっている。</p> <p>・年間8千～9千リットルのBDFを生産している。</p>			
受 賞 歴			

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(デワショウコウukaiジョセイブ) 出羽商工会女性部	部長 本間 紀枝子	鶴岡市 藤島	山形県商工会連 合会長
功 績			
<p>・地球温暖化、地球環境の問題等に関心を持ち、平成13年度から環境保全植物として注目されている「ケナフ」の栽培を開始した。洗剤が環境に及ぼす影響にも着目し、「ケナフ」の普及と有効活用の試みとして、地元のハーブ研究所と共同で「ケナフ石鹼」の研究開発を平成16年から行っている。現在、2種類のケナフ入り石鹼を商品化している。</p> <p>・平成20年から、マイバッグ持参運動に取組み、ごみの減量化などを呼びかける啓発活動を展開している。</p> <p>・家庭から出る廃ペットボトルキャップを回収し、NPO法人エコキャップ推進協会を通じて、発展途上国の子供たちのワクチン購入費として寄付を行う事業を行っている。</p>			
受 賞 歴			

(参考) 平成23年度 ごみゼロ推進功労者表彰者一覧

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(トザワムラシヨウヒシヤノカイ) 戸沢村消費者の会	会長 安食 和子	戸沢村 古口	戸沢村長
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> ・「出来る人が、できることから」をスローガンに、人の役に立てる物づくりと、ごみの減量化を目指して平成21年度に発足。地元のごみ処理施設を視察し、ごみの分別方法やごみ処理の仕組みを学び、地域住民に広める活動を行っている。 ・壊れて使えなくなった傘を再利用したエコバッグを作成し、村内の福祉施設に寄付するなど、村内のマイバッグ推進に寄与している。 ・洗剤を使わなくても汚れが落とせる、アクリル毛糸を使ったエコたわしを村民に普及させる活動を行ったり、傘を再利用した前掛けを作り、地域の団体や福祉施設に贈っている。 ・地元で栽培された作物を利用した料理やお菓子作りに取り組みレシピを紹介することで、地産地消拡大に努めている。 			
受 賞 歴			

【団体】

名 称	代表者	所在地	推薦者
(ヤマガタケンリツヤマガタコウギョウコウトウガッコウ) 山形県立山形工業高等学校	校長 渡部 慶蔵	山形市 緑町	NPO法人環境ネットやまがた代表
功 績			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や生徒、先生に廃食油の回収を呼びかけ、集まった廃食油を原料にバイオディーゼル燃料（BDF）の製造を行っている。 出来上がったBDFは地域の行事（あじさい祭り、キャンドルスケープinやまがた、とっておきの音楽祭 等）で小型ジーゼル発電機を回す燃料として使用し、ライトアップや音響装置の電源として利用された。 BDFを利用することで、ごみの減量や地球温暖化防止についてPRする活動を行っている。 ・廃食油からキャンドルスケープinやまがたで使用するキャンドルの製作を行い、当日の運営にも協力した。使用済となったキャンドルをさらにリサイクルし、固形石鹼を製造して校内の水場で石鹼を使用した。 ・学校から出るシュレッダーダストを圧縮加工し、エコ薪を製造し芋煮会で薪の代わりに使う実験を行うなど、日々環境問題について新しい取組を行っている。 ・地域貢献活動として「薬師祭り」「花笠祭り」「芋煮会」の時期に、毎年清掃活動を実施しており、それぞれ200人を超えるボランティアが活動を行っている。 			
受 賞 歴			